**令和６年度**

**高齢者・障害者介護サービス事業所 総括事業報告書**

　令和6年度での介護報酬改定により、義務化となった高齢者虐待防止や感染症予防対策、認知症の対応への取り組を行う為、全体事業所会議内において各委員会を立ち上げた。また、職場環境改善に向けても管理職が中心となり事業所内を巡視し、4S活動の啓発・実践を行った結果随時改善に向けて取り組むことが出来た。

全事業所の事業活動収入として、前年対比では若干収入を増やすことが出来たが、稼働率については、目標を達成できていない事業所が多かった。

特別養護老人ホーム創生の里では、上半期に退所者が多く、受け入れまでに時間を要した。

通所事業所では、居宅支援事業所等へ営業活動を行い、利用者の獲得や体験利用者の受け入れを行っていったが、終了者が多く目標を達成することが出来なかった。グループホームふく福では、入院等が少なく空床日数を32日と抑えられたことで目標稼働率95.0％に対して98.8％の稼働率を達成することが出来た。児童発達支援といろでも、相談支援事業所創生の里や法人内の保育園やこども園との連携を図り利用児を増やすことが出来た。

また新たな事業として令和6年7月より放課後等デイサービスを開設予定としていたが職員が揃わず令和7年5月開設となった。

【事業所の取り組み】

・特別養護老人ホーム創生の里で、介護テクノロジー導入支援事業の申請を行い、天井走行リフトや眠りスキャン19台全フロアに設置することが出来た。

・太平の里デイサービスセンターでは、ミスト浴等のロボット機器を導入し、職員の職場環境改善に向けて取り組みを行った。

・就労継続支援事業所創生の里では、収穫した農作物や利用者の手作りによるキーホルダー等を森のマルシェ（のだ山幼稚園）で販売し、地域の方や子供たちに喜んでもらうことができた。

【感染症対策】

・各事業所内では、換気やうがい、手洗い、マスクの着用等を持続して行った。

・特別養護老人ホーム創生の里では、ショートステイの方がコロナ感染症や結核等の罹患があったが、いずれもゾーニングにて対応し感染拡大を防ぐことが出来た。

【職員研修】

・県内外の研修に参加し、大分県高齢者福祉施設等実践者研究大会、九社連老人福祉施設等実践研修大会で実践発表を行うなどして職員の資質向上に努めた。

【地域交流事業】

・南太平寺や賀来の市での盆踊り大会参加や賀来公民館祭りでは焼き芋・ミカン販売を行い来場者に喜んでいただいた。